

土岐川グリーンベルト通信

第8号

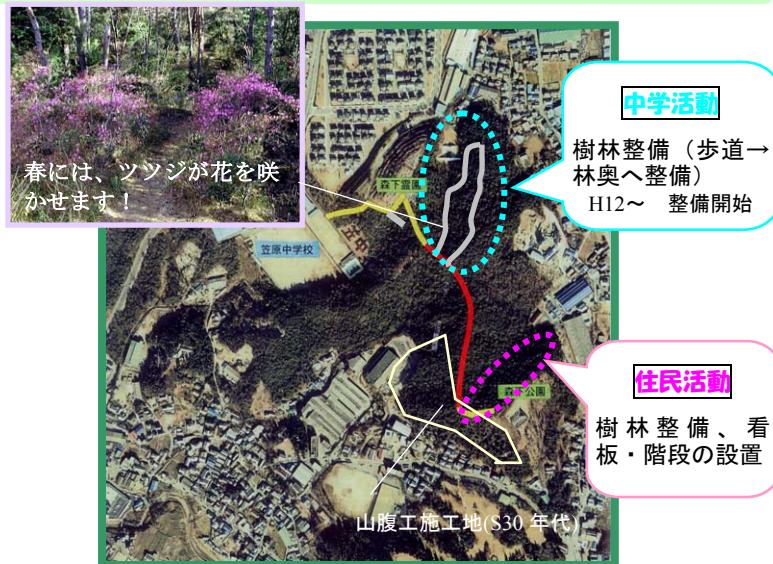
平成16年度「笠原の森」での活動報告（その2）

H16.11～H17.2 笠原の森での取り組み

今年度、笠原町の「笠原の森」では、笠原中学校活動による活動の発展、地域住民による活動の始動を目的とした樹林整備に取り組んでいます。

H16.11～H17.2には、下表のような活動を行いました。

実施日	活動内容
H17.1.30	住民参加による樹林整備活動 「みんなで行う森の手入れ体験」
H17.2.18	笠原中学校生徒と支援機関による樹林整備活動「めざせ！整備のプロ」 (本年度2回目)
H17.2.25	「森と川のつながり」に関する講義 笠原中1年生対象 (講師：多治見砂防国道事務所所長)



地域住民ら146人が、笠原の森を一斉整備！

1/30(日)、森下公園周辺（右上図の桃色点線箇所）で、「住民参加による森の手入れ体験」が開催されました（主催：笠原町、共催：多治見砂防国道事務所）。当日は、地域住民（88人）、笠原中学校生徒・先生（32人）、技術指導者（NPO法人鎮守の森、岐阜県職員）等を合わせて146人が集まり、枯れた木や細い木の伐採、案内看板・階段の設置等を行いました。アンケートの結果、約9割の方が今後も整備していきたいという意見でした。

活動の様子



整備の成果

公園西側斜面が一斉に整備されました！



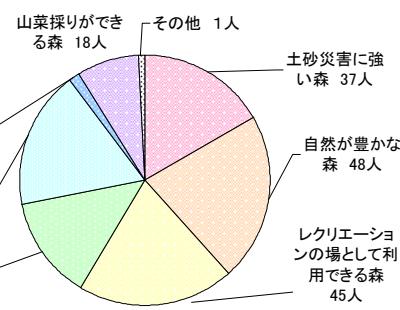
みんなの思い

～森への期待は様々です。

アンケート結果より

整備により、
笠原の森をど
んな森にした
いですか？

回答者：83人
(複数回答)



案内看板



看板前で記念撮影

笠原中生徒による樹林整備 ~整備のプロを目指して~

2/18（金）、中学校の総合的な学習の時間において、今年度2回目となる中学校と地域住民団体（稻荷神社奉賛会、NPO法人鎮守の森）、行政機関（笠原町・岐阜県・多治見砂防国道事務所）との協働による樹林整備を行いました（前ページ図の青色点線箇所）。生徒から「樹種を覚えたい」という意見が多かったため、「めざせ！整備のプロ：5つの常緑樹（アカマツ、ヒサカキ等）の特徴、切る必要のある木や残す木を覚えよう」を学習テーマとしました。これまで歩道周辺の整備が中心でしたが、今からは歩道から林奥へと整備を進めています。

■ 活動の様子



■ 整備の成果



■ 生徒の感想・意見

- 時間を忘れてしまうほど、集中して整備することができた。
- 5つの樹種や、どのような木を切る必要があるのかがわかった。
- これからも、この経験を活かし、整備をがんばりたい。

時間内に終わらなかった 切った木の片付け等は、後日、授業時間内に行われています。また、授業時間外においても（主に、土曜日）、中学校の先生と生徒（有志）が集まり、自主的な整備が行われています。

* 今後は、本紙で紹介したような「笠原の森」の樹林整備活動を地域に根付いた活動へと発展させていくことを目的として、これらの活動を進めていく予定です。



<ご案内> 愛・地球博(愛知万博)で、笠原中生徒が発表！

日時：8月22日（月） 13:00～14:00、場所：長久手会場 モリゾー・キッコロメッセ(遊びと参加ゾーン内)

現1年生が、「ふるさとの森を守ろう」をテーマに、現在取り組んでいる「笠原の森」での樹林整備活動を紹介します（口頭発表、ビデオ上映）。

この活動は、土岐川流域グリーンベルト整備事業の一環として行っています。当事業は、岐阜県の多治見市・土岐市・笠原町の斜面を対象とし、都市に接する斜面（森）をグリーンベルトとして保全し、森の無い斜面には新たに創出することにより、

- ・ 防災的に強い森とし、土砂災害を防止する
 - ・ 土砂災害の恐れのある地域に対し、ふさわしい土地利用へと導く
 - ・ 種の多様性のある森を保全・創出する
 - ・ 生活に憩いをもたらす自然景観を保全する
 - ・ 身近な自然体験の場を提供する
- といったことを目的としています。

作成者・お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局
多治見砂防国道事務所

〒507-0804 岐阜県多治見市坂上町 6-34
TEL : (0572) 25-8024
<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>